



PRESS RELEASE (2015/02/13)

九州大学記者クラブ会員 各位

「2015 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を開催

平成 27 年 3 月 12 日（木）に本学の大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門は、海域港湾空港技術に関する関係者間の情報共有を図り、今後の更なる技術開発促進の一助とするため、九州地方整備局港湾空港部と共同で「2015 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を開催します。

詳細については、別紙の九州地方整備局港湾空港部によるプレスリリースをご参照ください。

<内 容>

日 時：平成 27 年 3 月 12 日（木）13:30 ～ 17:55

場 所：ホテルセントラータ博多 3 階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街 4-23 TEL：092-461-0111

主 催：九州地方整備局港湾空港部

九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

プログラム：別紙のとおり

※ 当日の取材を希望される方は、取材申込書（別紙）に必要事項を記載の上、2 月 27 日（金）18 時までに九州地方整備局港湾空港部広報室あてお申し込み下さい。詳細は別紙「取材要領」をご覧ください。

<お問い合わせ先>

九州大学大学院工学研究院 教授 平澤 充成

電話：092-802-3398

FAX：092-802-3398

Mail：hirasawa@civil.kyushu-u.ac.jp

国土交通省 九州地方整備局港湾空港部総務室 稲田、鉄田

電話：092-418-3340

FAX：092-418-3031

【本件担当】

九州大学広報室

電話：092-802-2130

FAX：092-802-2139

E-mail：koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

【記者発表資料】
平成27年2月13日
九州地方整備局

「2015 海域港湾空港技術報告会 i n 福岡」の開催

海域・港湾・空港を取り巻く様々な問題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産学官の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。

今般、土木工学会等から高い評価を得ている全国の技術開発の現状や、九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することにより、その問題解決に向けた技術開発促進に寄与するため、「2015 海域港湾空港技術報告会 i n 福岡」を下記のとおり開催することといたしました。

記

日 時 平成27年3月12日(木) 13:30~17:55

場 所 ホテルセンターザ博多 3階「花筐の間」
福岡市博多区博多駅中央街4-23
TEL: 092-461-0111

主 催 九州地方整備局港湾空港部
九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

議事次第 別添のとおり

当日の取材を希望される方は、取材申込書(別紙)に必要事項を記載の上、2月27日(金)18時までにお申し込み下さい。

詳細は別紙「取材要領」をご覧ください。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局港湾空港部総務室 稲田、鉄田

TEL: 092-418-3340 FAX: 092-418-3031

2015 海域港湾空港 技術報告会 in 福岡

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は土木学会等から高い評価を得ている全国の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



大島干潟

日時 2015年 **3**月 **12**日(木)

13:30~17:55 (13:00 開場)

場所 セントラーザ博多 3階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街 4-23 TEL : 092-461-0111



和歌山下津港本港地区
耐震岸壁改良状況

参加無料・要事前申込・定員 150名(先着順)

申し込み方法

聴講希望者は、別紙申込書に社名(所属)・氏名・意見交換会参加の有無等必要事項を記載し、FAXにて下記までお申し込みください。(締め切り:2月27日まで必着)

申し込み・問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 総務室 (担当: 稲田、鉄田、勇)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅前東2丁目 10-7 福岡第二合同庁舎

TEL 092(418)3340 FAX 092(418)3031

地盤工学会 CPD プログラム 認定

主催: 九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学
研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催: 地盤工学会九州支部、九州大学産学官連携本部、(一財)沿岸技術研究センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭(株)、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾技術コンサルタンツ協会、九州港湾空港建設協会連合会



2015 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

プログラム

<司会>高嶋 紀子 (独法 港湾空港技術研究所)

13:30~13:35 開会挨拶 鈴木弘之 (九州地方整備局 副局長)

第I部 全国の先進的土木技術の紹介

13:35~14:00 基調講演 洋上風力発電における海底地盤とサクシオン基礎の適用
善 功企 (九州大学 特任教授、NPO 法人研究機構ジオセーフ 理事長)

14:00~14:25 アサリ成育場として継続的な活用を目指した人工干潟の整備
<平成25年度土木学会環境賞 (IIグループ)>
牧野武人 (中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長)

14:25~14:50 和歌山下津港本港地区耐震強化岸壁(-12m)における液状化対策について~防災
復興対策の要を担う耐震強化岸壁の強靱化~<平成25年度地盤工学会技術賞>
松田康博 (近畿地方整備局 和歌山港湾事務所 所長)

14:50~15:10 <休憩>

第II部 産学官の技術展望 <司会> 山内 恒 (九州大学産学官連携本部 准教授)

15:10~15:30 産官学による共同研究 -フェーズIIについて -
平澤充成 (九州大学 工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

15:30~15:50 九州における高潮 -過去の災害と将来の予測-
山城 賢 (九州大学 工学研究院附属アジア防災研究センター 准教授)

15:50~16:10 既設構造物の改良における地盤評価について
松本英雄 (九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 所長)

16:10~16:30 <休憩>

16:30~16:50 コンテナターミナル照明のLED化について
二宮 保 (博多港ふ頭(株) 事業企画部長)

16:50~17:10 重力式係船岸の新しい増深工法の開発
小笠原哲也 (一般社団法人日本埋立浚渫協会)

17:10~17:30 関門航路での浚渫工事について
平川雅之 (九州港湾空港建設協会連合会推薦:(株)白海 工事部係長)

17:30~17:50 可動橋(耐震)への接岸方式に対する多様化技術
久保田崇仁 (一般社団法人港湾技術コンサルタント協会推薦:(株)日本港湾
コンサルタント 九州支社 技術部長)

17:50~17:55 閉会挨拶 江頭和彦 (博多港ふ頭(株) 社長)

(18:10~ 意見交換会 於同場所、会費 5,000 円、要事前申込)

九州地方整備局港湾空港部総務室 あて
 (F A X 番号 0 9 2 - 4 1 8 - 3 0 3 1)

報告会・意見交換会申込用紙

所 属 ・ 役 職	氏 名	報告会参加 (参加○、不参加×)	
		報告会Ⅰ,Ⅱ	意見交換会

※ご担当者氏名・連絡先

氏 名 :

ご連絡先 :

ACCESS 各交通手段からアクセスのご案内

HOTEL CENTRAZA HAKATA ホテルセントラーザ博多

Address 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街4-23

Phone 092-461-0111 Fax 092-461-0171

飛行機をご利用の場合(福岡空港)

・福岡空港より車で約10分・地下鉄 [福岡空港] - [博多] 約5分

JRをご利用の場合・・・JR博多駅(筑紫口)より徒歩1分

地下鉄をご利用の場合・・・地下鉄博多駅筑紫口東4番出口より直結

お車をご利用の場合

- ・九州自動車道 福岡I.C → 福岡都市高速 博多駅東(約5分)
- ・九州自動車道 大宰府I.C → 福岡都市高速 半道橋(約10分)



取材要領

1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、九州地方整備局港湾空港部広報室まで、FAXにて事前申し込みをお願いします。事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守でお願いします。(2月27日(金) 18:00必着)

・申込先(FAX番号) 092-418-3031

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

- ・所属クラブ名
- ・会社名及び部署名
- ・取材者の役職・氏名(取材者全員の役職・氏名を記載願います。)

2. 当日の受付及び留意事項について

・受付場所: ホテルセントラータ博多 3階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街4-23

TEL: 092-461-0111

・受付時間: 13:00~13:20

<留意事項>

- ・取材はカメラ撮りのみです。
- ・取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。
- ・会場内では、「報道関係者席」にご着席頂くとともに、撮影は予め定められたスペースもしくは「報道関係者席」からお願いします。
- ・会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。
- ・その他、取材にあたっては、係員の指示に従って下さい。

